

87 チュウヒ

(タカ目)

兵庫県ランク:A

Circus spilonotus

繁殖個体群:Ex 越冬個体群:A 通過個体群:調

環境省ランク:EN(絶滅危惧 I B類)

種の概要

北海道では夏鳥、本州では主として冬鳥だが、一部は周年生息し繁殖する。四国、九州、沖縄では冬鳥。兵庫県では主に10-翌4月に見られる。過去には周年の記録がある。湿原や広いヨシ原、草原、農耕地に生息する。低空飛行で獲物を探し、小型鳥類や小動物、魚類などを捕食する。



写真提供:小坂時弘

国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、見島、四国、九州、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、尼崎市、(西宮市)、(伊丹市)、豊岡市、加古川市、(赤穂市)、三木市、高砂市、加西市、淡路市、(宍粟市)、(加東市)、稲美町、(太子町) ※かつて県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。
個体数は少ないものの、かつては周年生息していた。営巣が確認されていたのは赤穂市だけだが、複数個体の記録がある加古川市や姫路市、豊岡市などでは繁殖していたと考えられている。近年は開発により広大なヨシ原が消滅したため繁殖記録はなく、冬期に渡来する少数の個体が観察される程度になっている。

保護上の留意点

広い面積のヨシ原の保全および積極的な再生が重要。